allcinema

殺しのダンディー（1968）

A DANDY IN ASPIC

メディア 映画
ジャンル サスペンス　アクション
製作国　イギリス
色彩　Color
時間　108分
初公開日 1969/05/31
公開情報 ＣＯＬ

【解説】

妖しいライティングの下で踊るマリオネットのタイトル・バック映像が暗示するように、東西の冷戦に翻弄されるスパイたちの物語である。“ナイチンゲール”と呼ばれる諜報員養成所の教官の葬儀に集まった連中が、この所連続する関係者の殺人事件について声を潜めて語り合っている。“事務屋”の伊達男エバリンは関心なさそうに見えながら、実はその背後にいる張本人。ソ連との二重スパイなのだ。英情報局きってのキレ者ギャティス（コートネイ）は、その存在を仲間うちに示唆し、エバリンに二重スパイを消すよう命令する。つまり自分を殺せ－－と言うのか？　だが、８ｍｍフィルムで見せられた目的の男は、親友でソ連側の連絡員パーベルだった。彼を殺そうとして果たせないエバリン。しかし、その目前でソ連スパイと思わしき連中が彼を連れ去っていく。祖国を離れて１８年。当時少年だったエバリンも最早中年だ。追い詰められ、ただ帰りたい一心の彼は、ベルリンで東側に入ろうとするが冷たくはねのけられ、ソ連側の食わせ者ソバブキン（スタンダー）の、身代わりを立ててお前を助ける－－との言に従って、自分の影を探すような虚無的な調査の素振りを続けるのだが……。英国の曲者役者を揃え、渋く展開する硬派のスパイ映画で、製作・監督はハリウッドの異能の人Ａ・マン。だが、その撮影途中に交通事故死し、主演のハーヴェイが引き継いで完成させたという。ほとんど筋に絡んでこないＭ・ファロー（女優カメラマンという設定）がお邪魔ムシだが、グレアム・グリーン風の内省的なテーマを持った面白い作品だ。原作・脚本はＤ・マーロウ。Ｑ・ジョーンズのフュージョン・ジャズのサウンドもクールでなかなか。

【クレジット】

監督	アンソニー・マン	Anthony Mann	
製作	アンソニー・マン	Anthony Mann	
原作	デレク・マーロウ	Derek Marlowe	
脚本	デレク・マーロウ	Derek Marlowe	
撮影	クリストファー・チャリス	Christopher Challis	
編集	セルマ・コネル	Thelma Connell	
音楽	クインシー・ジョーンズ	Quincy Jones	
出演	ローレンス・ハーヴェイ	Laurence Harvey	アレクサンダー・エバリン
	トム・コートネイ	Tom Courtenay	ギャティス
	ミア・ファロー	Mia Farrow	キャロライン
	ライオネル・スタンダー	Lionel Stander	ソバケヴィッチ
	ハリー・アンドリュース	Harry Andrews	フレイザー
	ピーター・クック	Peter Cook	プレンティス
	ペール・オスカルソン	Per Oscarsson	パーヴェル
	バーバラ・マーレイ	Barbara Murray	ミス・フォグラー

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

ジョン・バード	John Bird	ヘンダーソン
ノーマン・バード	Norman Bird	カッパーフィールド
ジェフリー・ベイルドン	Geoffrey Bayldon	レイク
カルヴィン・ロックハート	Calvin Lockhart	ブローグ

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.